

2015. 7. 9版

## 2015年度第11回「若手研究者支援プログラム」のお知らせ

奈良女子大学古代学学術研究センターは、第11回「若手研究者支援プログラム」を、8月23日(日)と24日(月)の2日間、奈良県立万葉文化館との共催で開催させていただきます。

第1日目の講演会では、「日本霊異記を読む」を大テーマとして掲げ、この日本最初の仏教説話集を歴史学や古代日本語学の観点から見つめ直します。まず、本学教授の館野和己が『日本霊異記』に見える交易と銭」と題して、古代社会における流通経済のすがたを説話の中から具体的に浮かび上がらせてみます。さらに、関西大学教授の乾善彦氏をお招きし、「日本霊異記から三宝絵へ」と題して、漢字で綴られた文章を読み解き、漢文訓読から和漢混淆文成立までの過程をたどっていただきます。

第2日目は、若手研究者による研究発表会です。大学院生を中心に若手5名が、『古事記』『萬葉集』『日本書紀』 或いは古代日本語についての研究発表を行います。2012年・2014年と行った公開指導方式が好評でしたので、今回も引き続きこの方式を試みます。あらかじめ指名させていただいた講師の方に事前に発表内容を検討していただき、論全体を見据えた上で、種々の観点から集中的に御指導していただきます。発表者だけでなく参加した若手研究者にも、問題の立て方、資料の扱い方、論の進め方などを総合的に学んでいただくという趣旨です。

本プログラムは、主に語学・文学分野の若手研究者の研究支援を目的としていますが、広く専門の研究者或いは一般の方々の御参加も歓迎しております。年齢やキャリア、専門分野などを問わず、多数の方々がご参加くださることを期待しております。

なお、大学および研究機関等で御指導に当たられている先生方におかれましては、ぜひ大学院生・研究生諸氏にお知らせいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

奈良女子大学古代学学術研究センター

若手研究者支援事業担当 奥村 和美

記

第11回「若手研究者支援プログラム」

第1部 公開講演会 「日本霊異記を読む」

8月23日(日) 13時30分～16時30分 (於 奈良県立万葉文化館 受付12時30分～)  
(無料)

『日本霊異記』に見える交易と銭

講師 奈良女子大学教授

舘野 和己

日本霊異記から三宝絵へ

講師 関西大学教授

乾 善彦

※万葉日本画の観覧には別途観覧料が必要です  
○終了後、懇親会。専任教職員等4,000円 学生3,000円

第2部 若手研究発表会【公開指導方式】

8月24日(月) 10時～17時 (於 奈良女子大学 G棟101教室) (無料)  
<午前>

倭建命譚と「剣」試論

日本女子大学助教

岩田 芳子

講師 奈良大学教授

上野 誠

建波邇安王の反乱—幣良坂の少女の歌を中心に—

明治大学大学院生

山口 直美

講師 お茶の水女子大学教授

荻原 千鶴

<午後>

顕昭の歌学における「日本紀」の位置付け

京都大学大学院生

鎌田 智恵

講師 関西大学教授

乾 善彦

大伴家持越中時代挽歌について—書持挽歌を中心に—

奈良女子大学大学院生

長内 遥香

講師 明治大学教授

山崎 健司

万葉集におけるク語法と準体句の意味論的差異—動詞述語文の目的格に立つ場合—

福岡大学大学院生

向井 克年

講師 京都大学名誉教授

内田 賢徳

## 申込方法

〈一般参加の場合〉 申込み手続き不要

〈研究者として参加の場合〉

☆大学院生以上の研究者を対象としています。

以下のフォーマットを御使用の上、下記宛先までメール・ファクシミリ・郵送のいずれかで、8月14日(金)までにお申込みください。郵送の場合は14日必着でお願いいたします。メールの場合は、標題に「若手研究者支援プログラム参加申込」と御記入ください。

申込宛先

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

奈良女子大学コラボレーションセンター205号室

奈良女子大学古代学学術研究センター

電話・FAX 0742-20-3779

E-mail [kodaijaku@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:kodaijaku@cc.nara-wu.ac.jp)

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

### 2015年度 第11回「若手研究者支援プログラム」 参加申込書

氏名(ふりがな)

所属大学／機関名

所属学部／部署名

学年／役職

郵便番号

住所

電話・FAX番号

メールアドレス

参加日程(○印を記入してください) 8月23日 ( ) 23日懇親会( )  
8月24日 ( )

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

以上